

令和6年度佐賀県保育士実態調査 調査結果の概要

佐賀県では、現在保育士の確保が喫緊の課題となっていることを踏まえ、今後の保育士確保策検討の参考とするため、佐賀県の取り組みによる処遇改善・業務の負担軽減の状況や就労継続・復職の意向等について調査を実施しました。

調査結果の概要は、以下のとおりです。

1 調査の概要

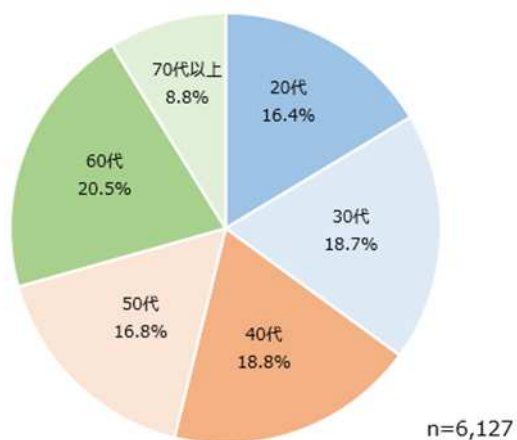
調査対象（母集団）	● 令和6年11月時点において、佐賀県内で保育士として登録されている者（70代以下）14,772名
有効回収数（サンプル数）	● 6,127名 ※有効回収率55.9%（宛先不明3,803件を除く）
調査方法	● 調査票の配布：郵送 ● 回答方法：郵送又はインターネット
調査実施時期	● 令和7年1月27日～2月28日
調査項目	● 調査対象者の属性等 ● 現役保育士（現在保育士として勤務している者）の実態 ● 潜在保育士（現在保育士として勤務していない者）の実態
調査主体・実施機関	● 調査主体：佐賀県健康福祉部男女参画・こども局こども未来課 ● 実施機関：株式会社MOVER&COMPANY

2 調査結果の見方

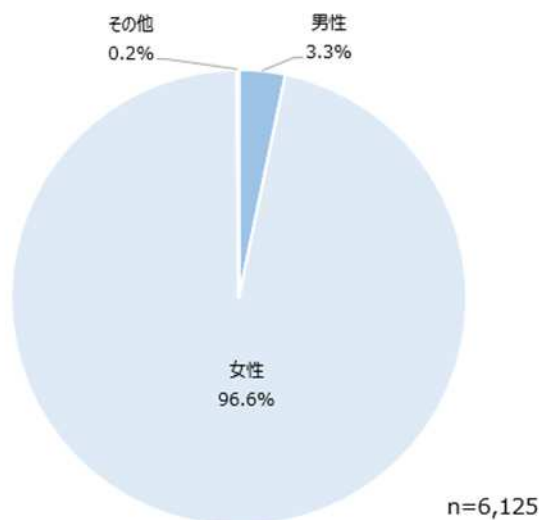
- ✓ グラフに表示している「n」は、比率算出上の基数（標本数）である。
- ✓ 集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ✓ 複数選択可能な設問においては、比率の合計が100%を超える場合がある。

3 調査対象者の属性等

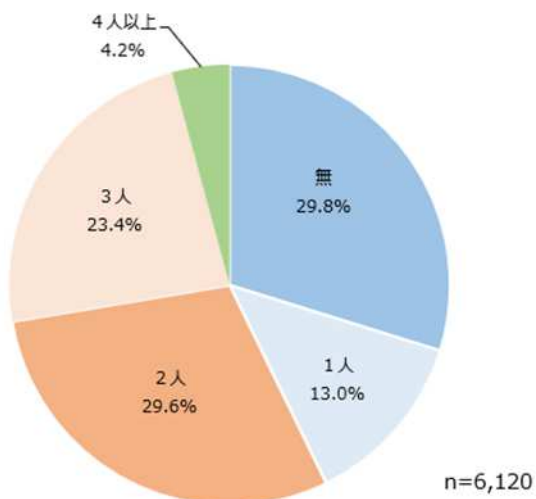
年代



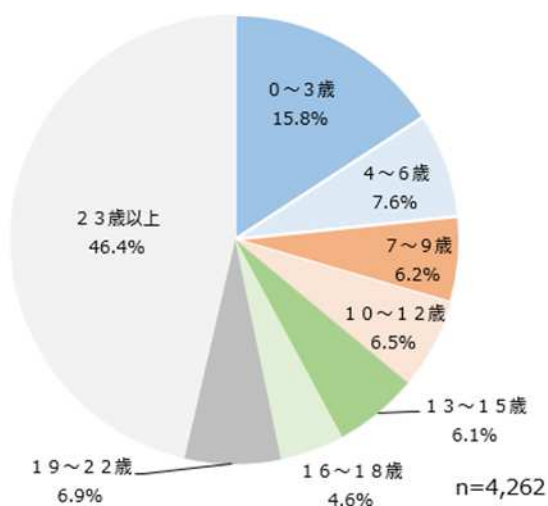
性別



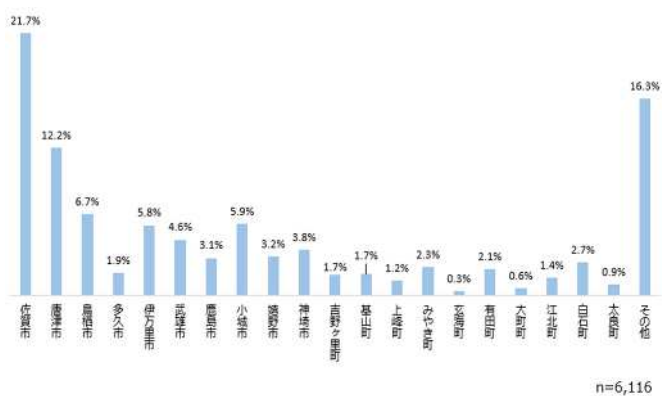
子供の人数



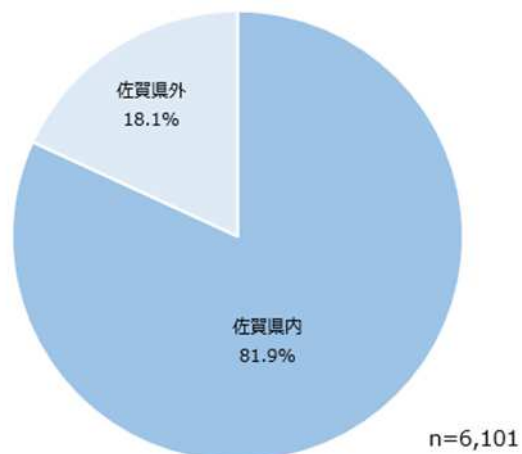
末子年齢



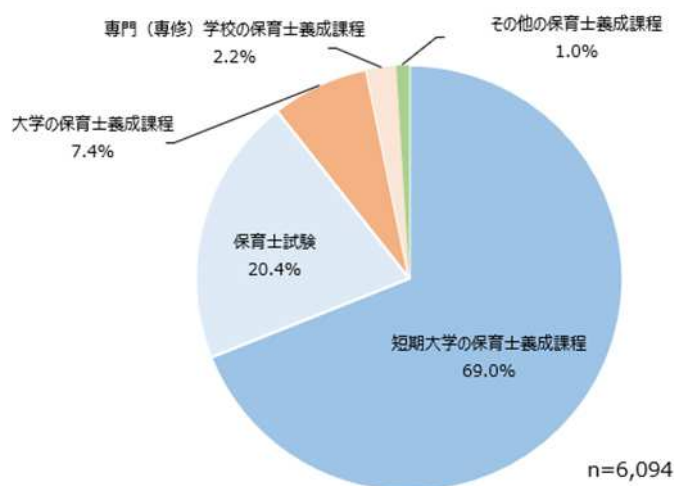
現在の住まい



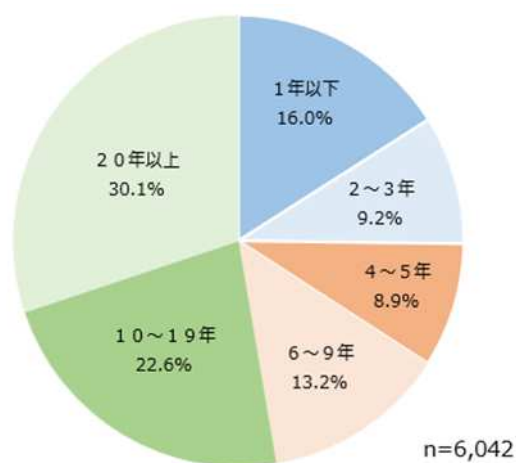
出身



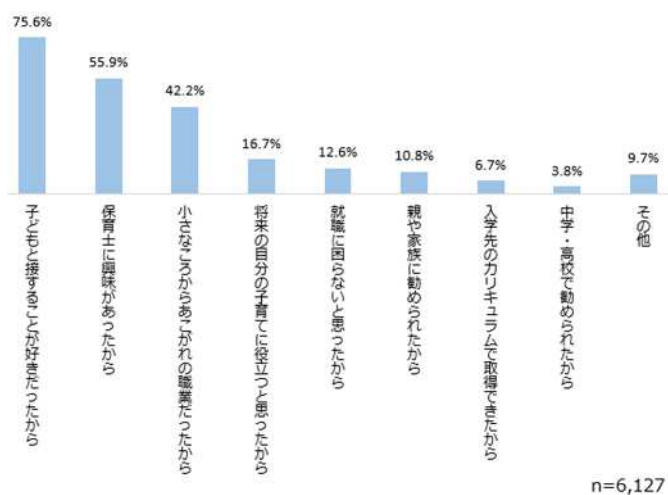
保育士資格の取得方法



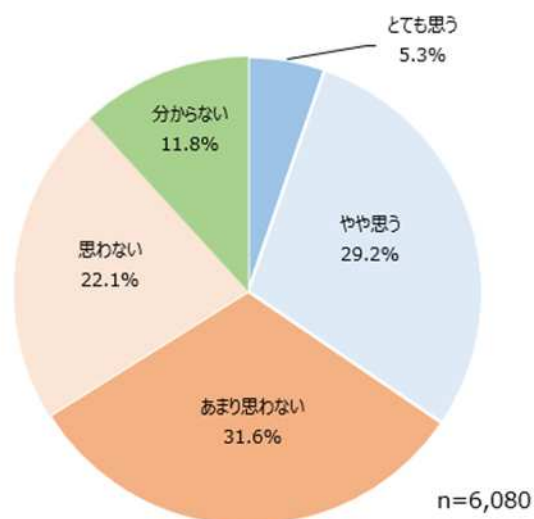
勤務年数（通算）



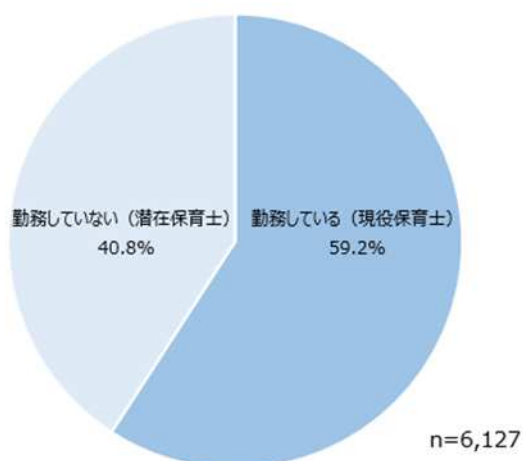
保育士資格の取得理由



保育士の待遇改善に対する実感

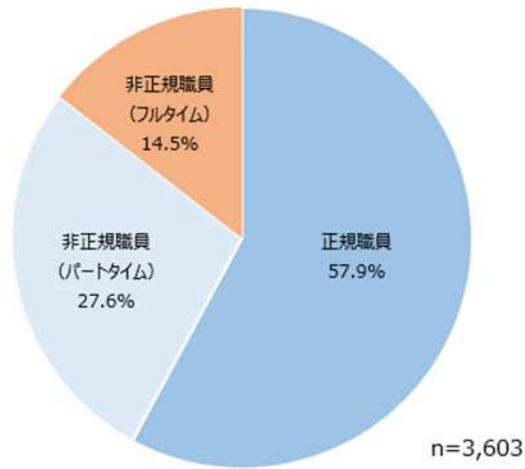


現在の勤務状況



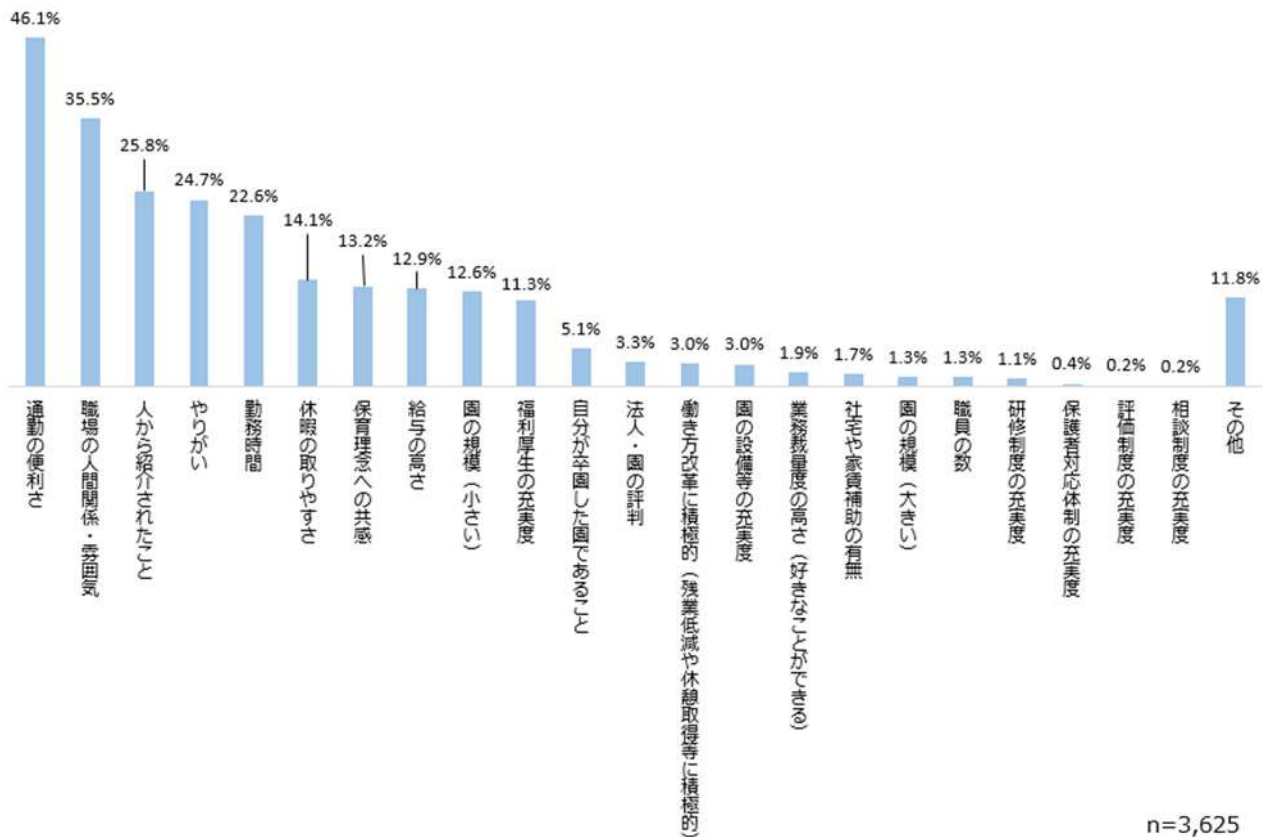
4 現役保育士の実態

雇用形態



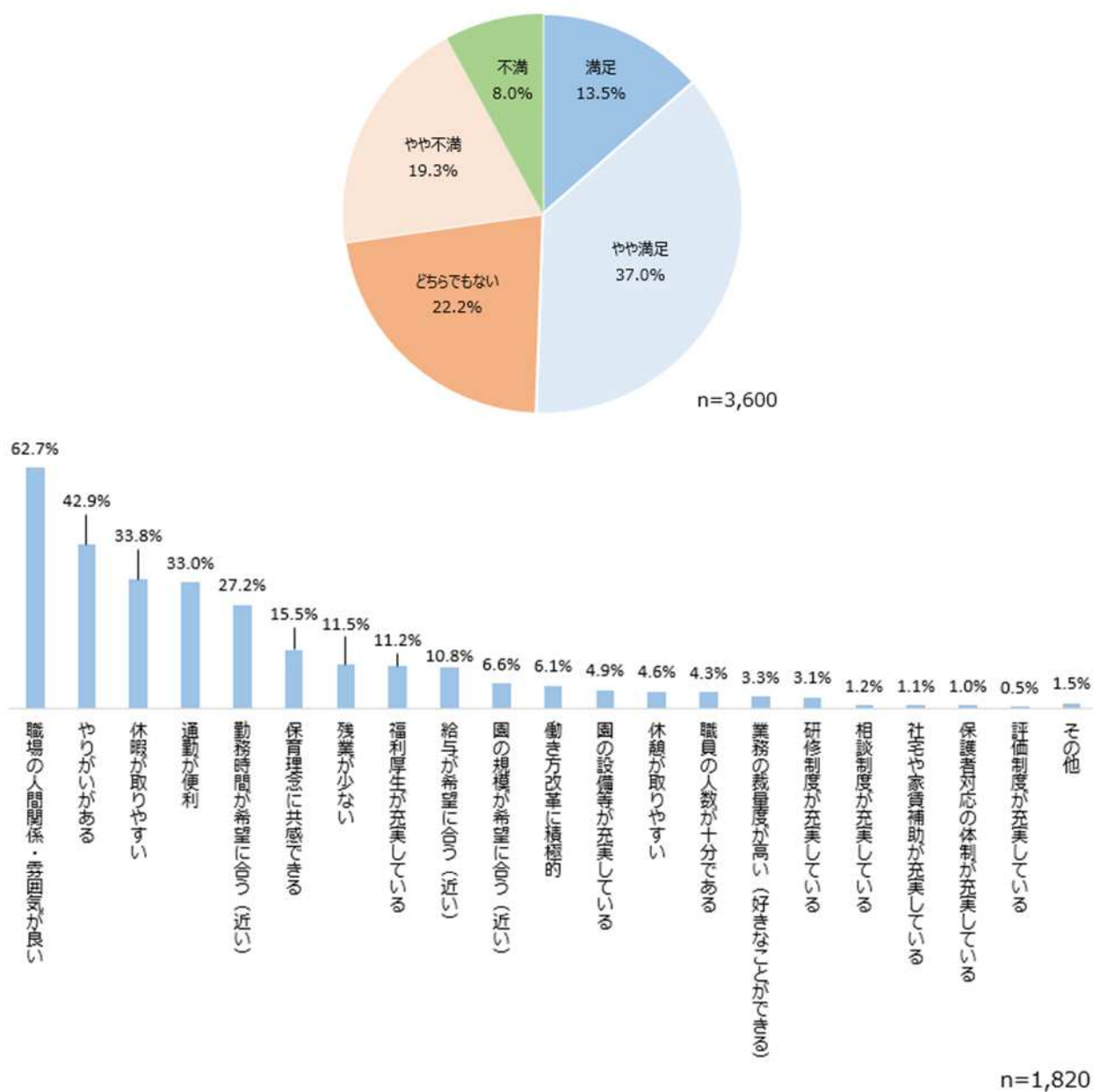
- 雇用形態について、「正規職員」(57.9%)が最も多く、次いで「非正規職員(パートタイム)」(27.6%)、「非正規職員(フルタイム)」(14.5%)の順となっている。非正規職員の割合は合計 42.1%となっている。

職場選択時に重視したこと・就職のきっかけ



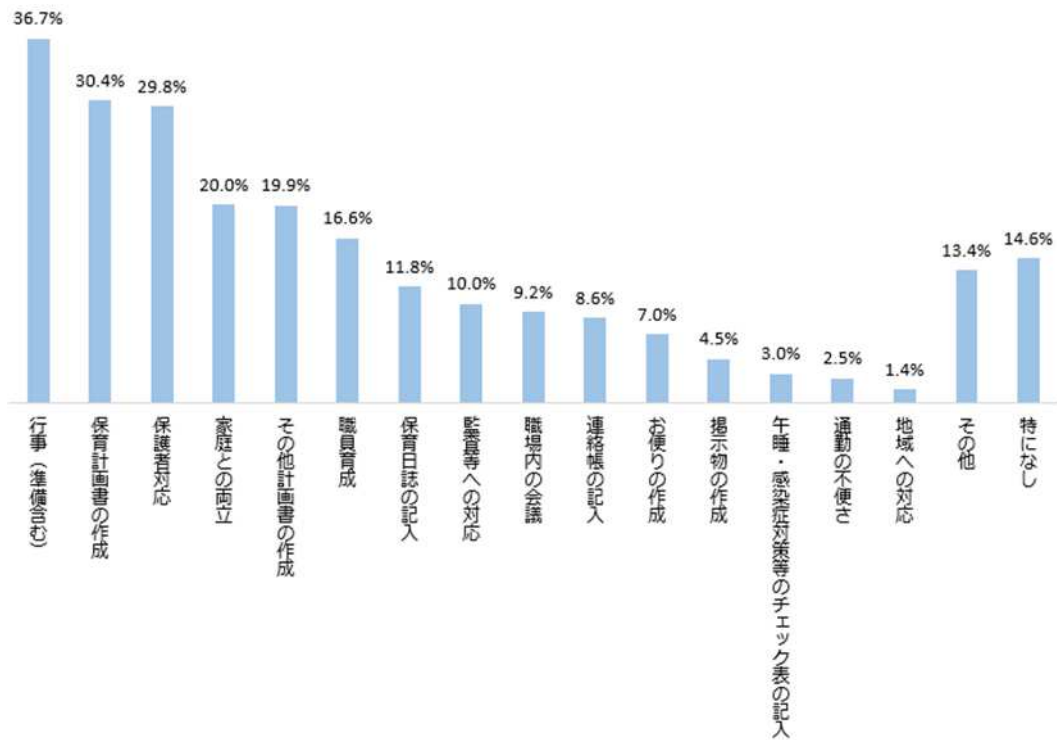
- 職場選択時に重視したこと・就職のきっかけについて、「通勤の便利さ」(46.1%)が最も多く、次いで「職場の人間関係・雰囲気」(35.5%)、「人から紹介されたこと」(25.8%)の順となっている。

現在の職場の満足度・満足度が高い理由



- 現在の職場の満足度について、「やや満足」(37.0%) が最も多く、次いで「どちらでもない」(22.2%)、「やや不満」(19.3%) の順となっている。
- 「満足」・「やや満足」を選んだ理由について、「職場の人間関係・雰囲気が良い」(62.7%) が最も多く、次いで「やりがいがある」(42.9%)、「休暇が取りやすい」(33.8%) の順となっている。

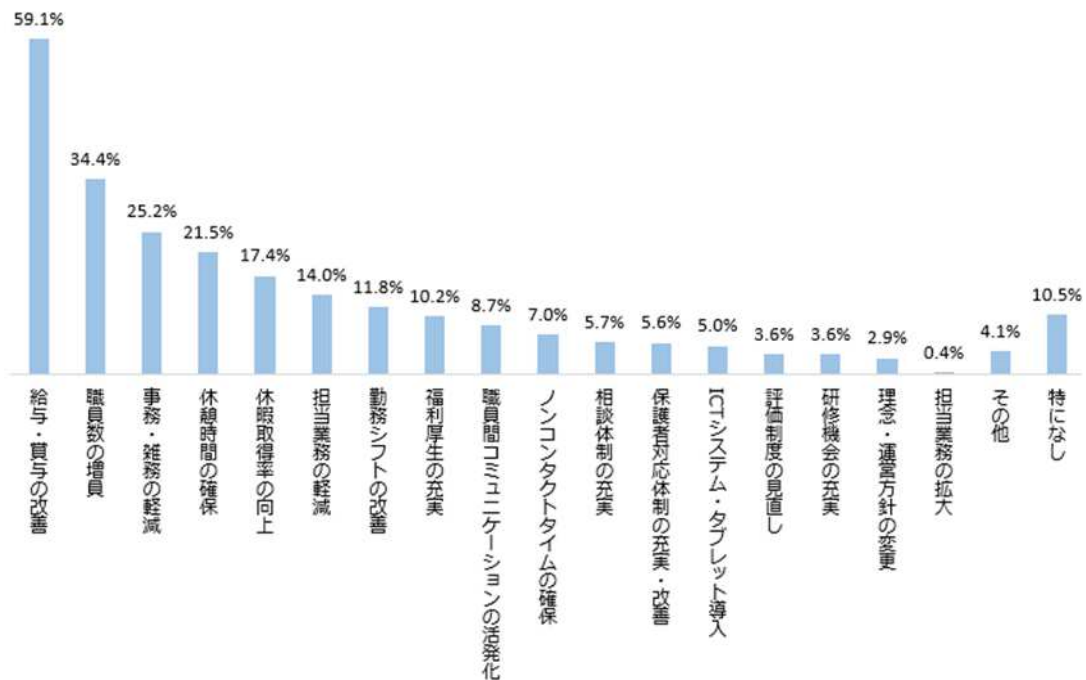
勤務上負担に感じること



n=3,625

- 勤務上負担に感じることについて、「行事（準備含む）」（36.7%）が最も多く、次いで「保育計画書の作成」（30.4%）、「保護者対応」（29.8%）の順となっている。

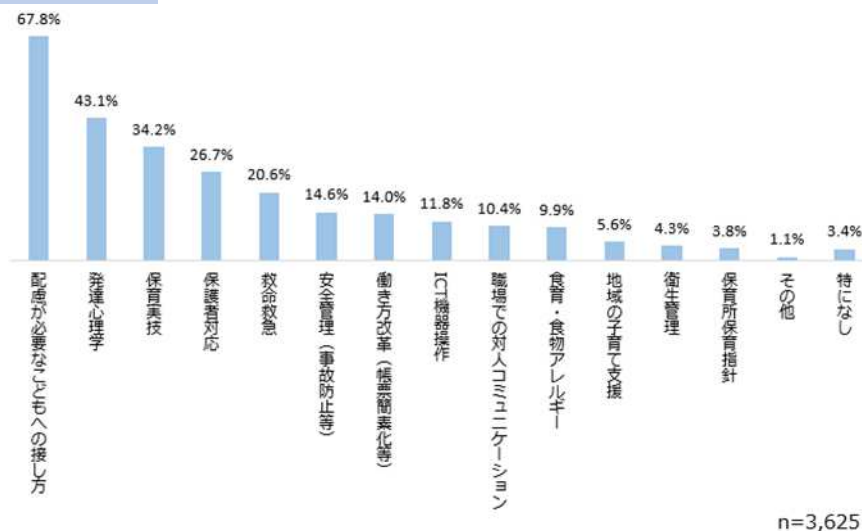
現在の職場への希望



n=3,625

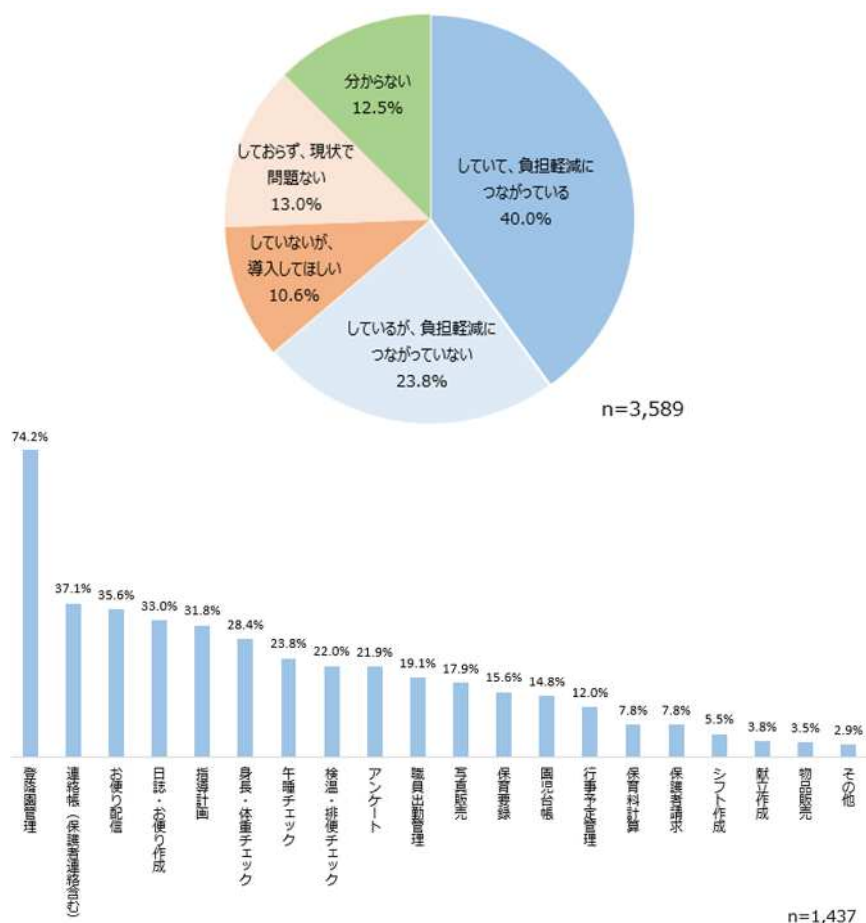
- 現在の職場への希望について、「給与・賞与の改善」（59.1%）が最も多く、次いで「職員数の増員」（34.4%）、「事務・雑務の軽減」（25.2%）の順となっている。

習得を希望する知識・技術



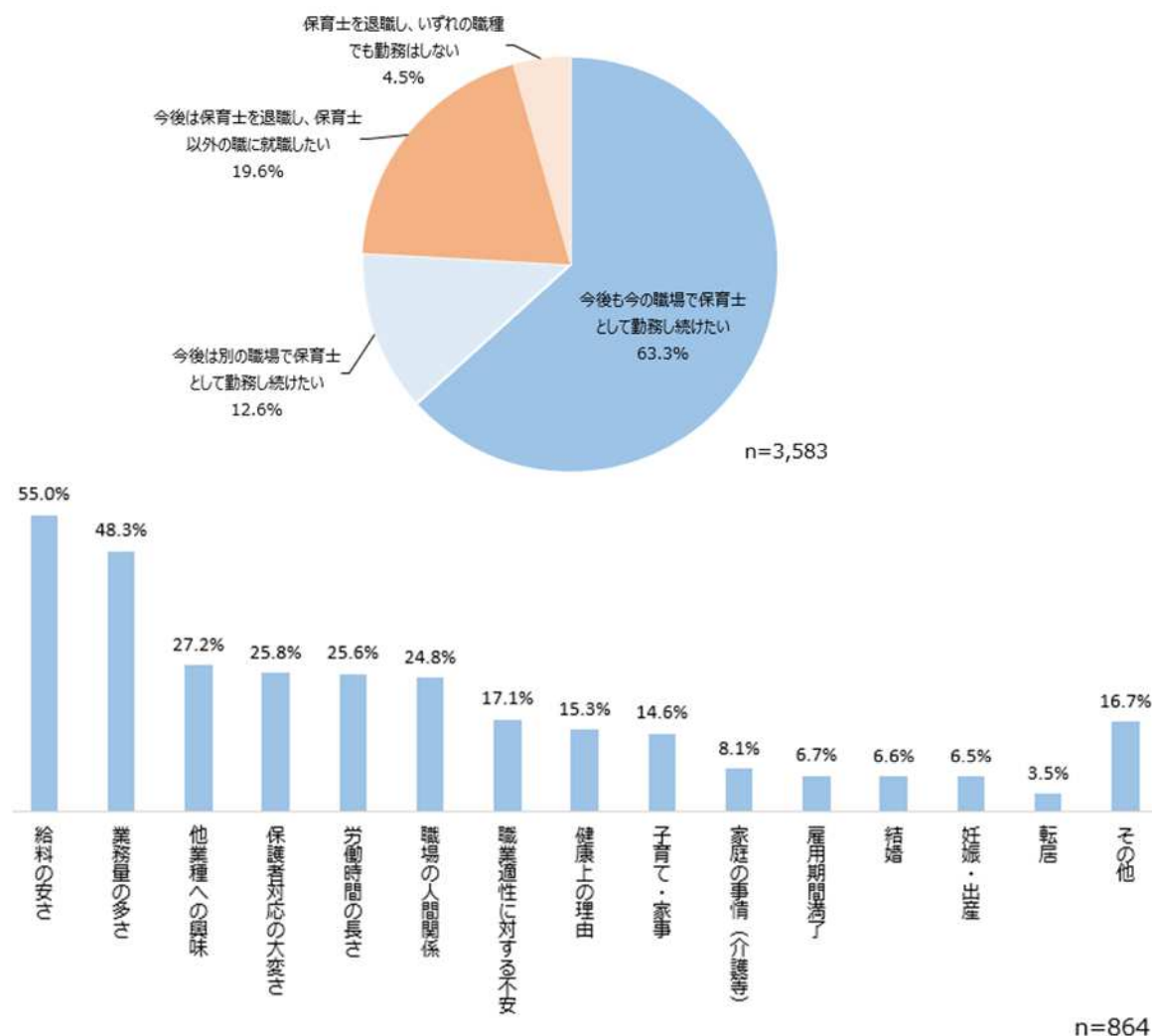
- 習得を希望する知識・技術について、「配慮が必要な子どもへの接し方」（67.8%）が最も多く、次いで「発達心理学」（43.1%）、「保育実技」（34.2%）の順となっている。

ICTシステムの導入及び負担軽減の状況・負担軽減につながっている機能



- ICTシステムの導入及び負担軽減の状況について、「していて、負担軽減につながっている」（40.0%）が最も多く、次いで「しているが、負担軽減につながっていない」（23.8%）、「しておらず、現状で問題ない」（13.0%）の順となっている。
- ICTシステム導入によって負担軽減につながっている機能について、「登降園管理」（74.2%）が最も多く、次いで「連絡帳（保護者連絡含む）」（37.1%）、「お便り配信」（35.6%）の順となっている。

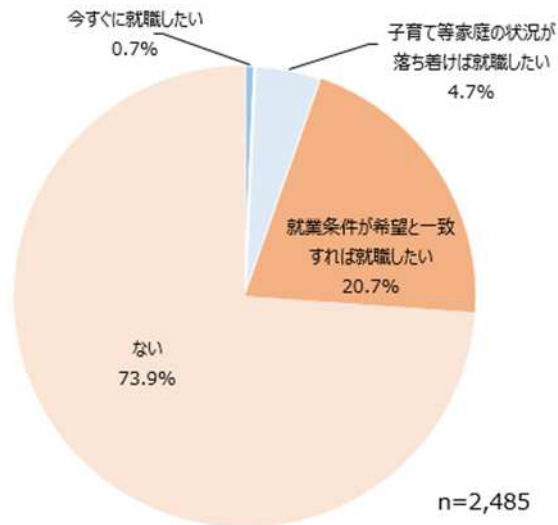
保育士としての勤務継続の意向・退職を希望する理由



- 保育士としての勤務継続の意向について、「今後も今の職場で保育士として勤務し続けたい」（63.3%）が最も多く、次いで「今後は保育士を退職し、保育士以外の職に就職したい」（19.6%）、「今後は別の職場で保育士として勤務し続けたい」（12.6%）の順となっている。
- 退職を希望する理由について、「給料の安さ」（55.0%）が最も多く、次いで「業務量の多さ」（48.3%）、「他業種への興味」（27.2%）の順となっている。

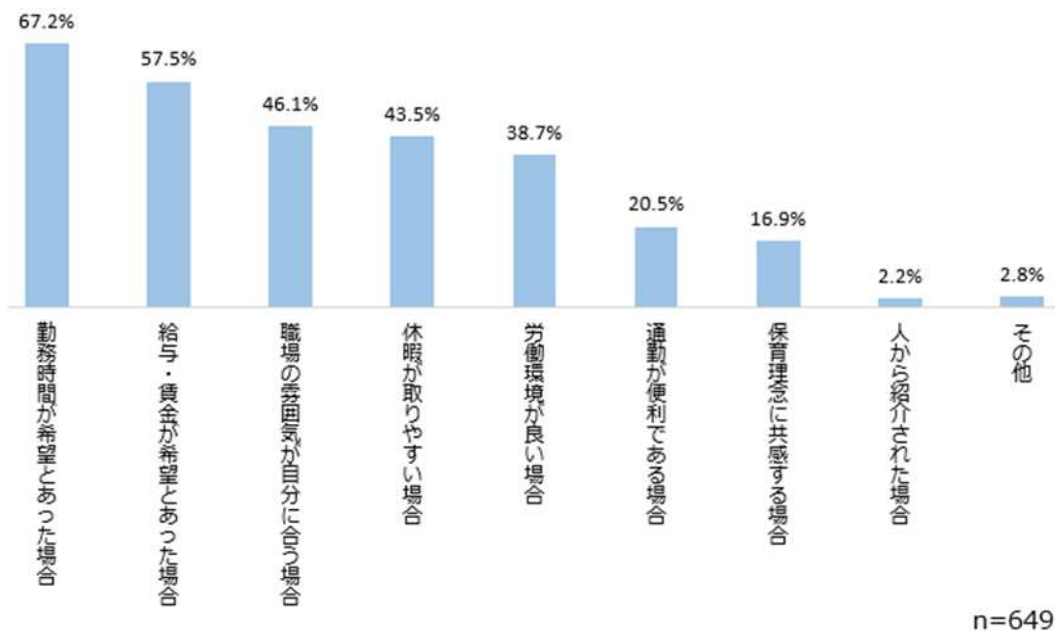
5 潜在保育士の実態

保育士としての就職の意向



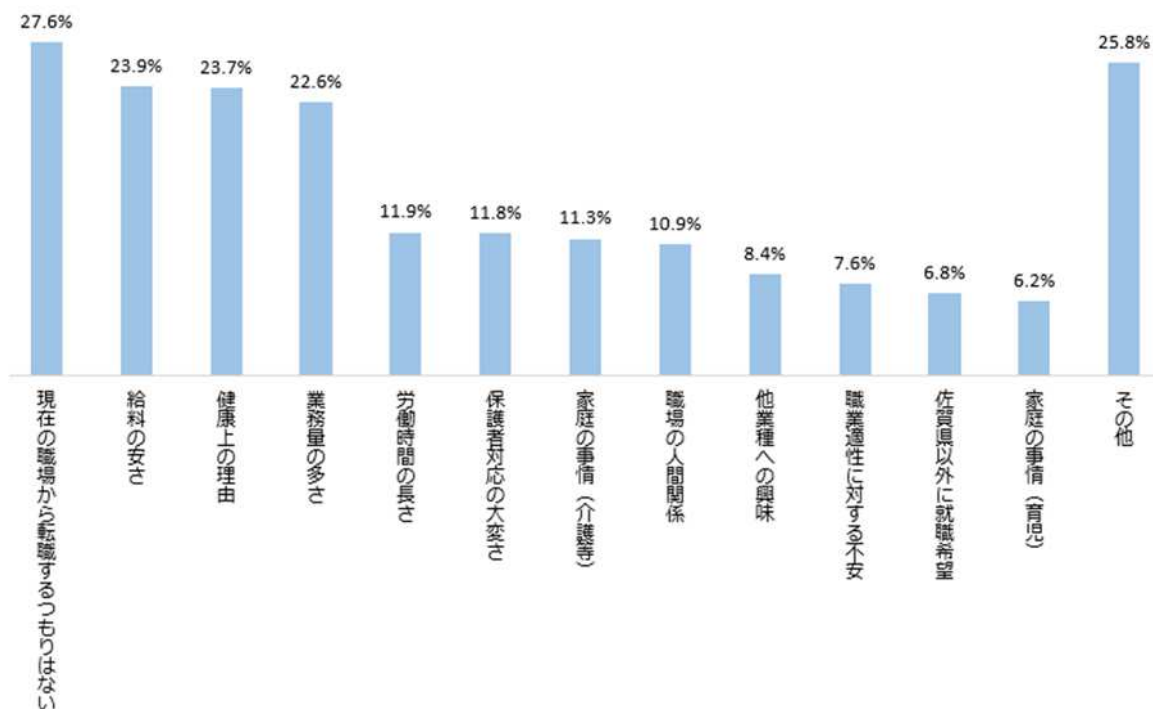
- 保育士としての就職の意向について、「ない」（73.9%）が最も多く、次いで「就業条件が希望と一致すれば就職したい」（20.7%）、「子育て等家庭の状況が落ち着けば就職したい」（4.7%）の順となっている。

就職を検討する場合の希望条件



- 就職を検討する場合の希望条件について、「勤務時間が希望とあった場合」（67.2%）が最も多く、次いで「給与・賃金が希望とあった場合」（57.5%）、「職場の雰囲気が自分に合う場合」（46.1%）の順となっている。

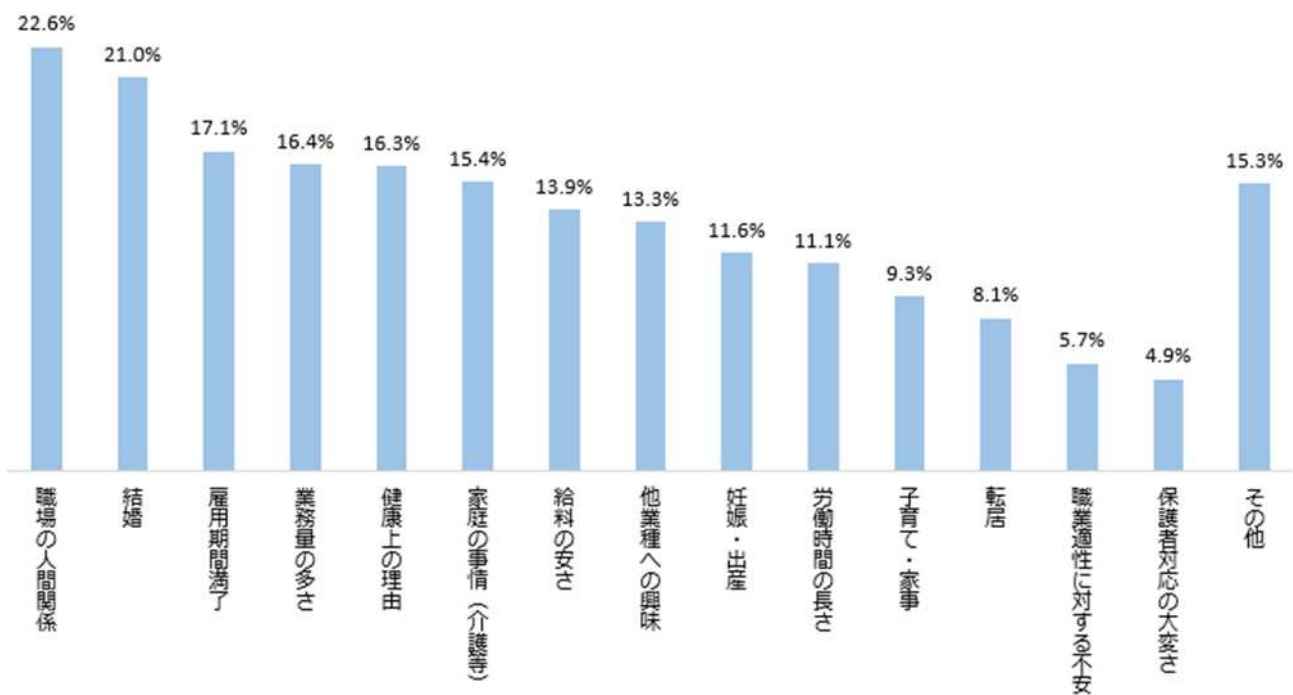
就職の意向がない理由



n=1,836

- 就職の意向がない理由について、「現在の職場から転職するつもりがない」（27.6%）が最も多く、次いで「給料の安さ」（23.9%）、「健康上の理由」（23.7%）の順となっている。

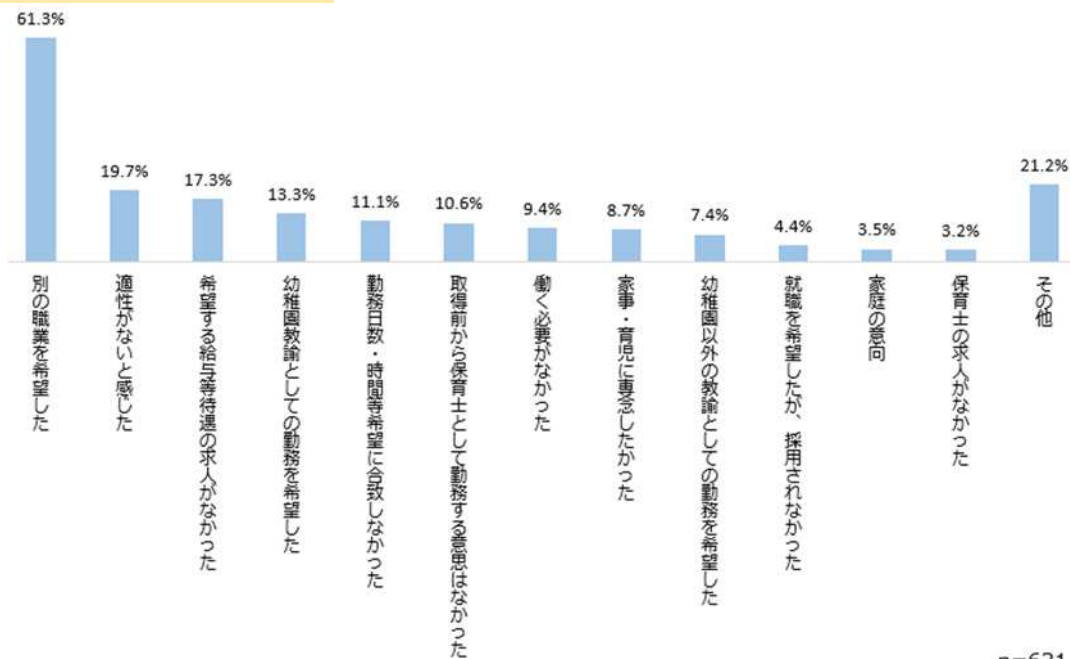
以前の職場を退職した理由



n=1,794

- 以前の職場を退職した理由について、「職場の人間関係」（22.6%）が最も多く、次いで「結婚」（21.0%）、「雇用期間満了」（17.1%）の順となっている。

勤務経験がない理由



n=631

- 勤務経験がない理由について、「別の職業を希望した」（61.3%）が最も多く、次いで「適性がないと感じた」（19.7%）、「希望する給与・待遇の求人がなかった」（17.3%）の順となっている。

<参考> 令和6年度佐賀県保育士実態調査 報告書

令和6年度佐賀県保育士実態調査の報告書については、佐賀県健康福祉部のホームページにおいて、全文を公表しております。調査結果の詳細については、以下のURL 又はQRコードからご覧ください。

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/toukei/kiji003112650/index.html>

QRコード :



佐賀県子育て応援キャラクター
さがっぴい



令和6年度佐賀県保育士実態調査 調査結果の概要

令和7年3月発行

佐賀県健康福祉部男女参画・こども局こども未来課

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59 電話番号 0952-25-7616

<https://www.pref.saga.lg.jp>

(委託先 株式会社MOVER & COMPANY)